

Q 当町による「いきいき福祉大会」は、高齢者のいきがい作りの一助となっているものと思うが、今後の展望について、当町の考え方を伺いたい。

A 「いきいき福祉大会」については、去る4月20日にいきいきクラブ連合会の創立60周年記念事業として、感染症対策を講じた上で、歌謡ショーを実施。今後の同大会の在り方に関しては、いきいきクラブ連合会の意向も踏まえつつ、どのような会を開催するか、町としては継続して開催できるように、しっかりサポート・後押しをして参りたい。

(町長・福祉部長)



公共施設の命名権の募集(ネーミングライツ)の導入について

Q 昨年、茨城県が実施したことにより、県内自治体でも導入の動きが見られる本制度について、当町の考え方を伺いたい。

A 1970年代に米国において、スポーツ施設の命名権を企業が買い取ったことが始まりとされ、日本でも2000年代より当手法が用いられるようになった。年間数百万円程度の収入に対し名前や看板、地図等を変更することの費用対効果が低い施設等では、他の自治体もパートナー探しに苦慮していること等を踏まえ、当町の導入については慎重に検討したい。ただし、町から営業をかけ、企業からのニーズが確認できれば、町としても公募を行い、導入に向け、対応して参りたい。

(町長・企画部長)



「干し芋カフェ HOSHIIMONO 100Café」
境町山神町歩道橋

議席10番

田山 文雄 議員



地方創生臨時交付金の活用について

Q 新型コロナウイルス感染症の長期化、並びにウクライナ危機

による物価高騰の影響がある中で、国からの地方創生臨時交付金の活用等が示されていますが、当町としての活用の考えを伺いたい。

A 当町には、約1億2百万円が配分される予定となっております、町民の皆様の日常生活に寄り添うため、大阪市が実施するような、上下水道料金や農業集落排水の基料無料化(7月、8月分)など、事業者まで含めた町民の皆さまが恩恵を受けるような施策を実施していきたい。尚、給食費の食料費の高騰による補填を町が行い値上げをしない方向で進めていきたい。

(町長・企画部長)

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について

Q 「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体」として全国で702自治体が表明、当町もその中の自治体として入っています。

当町の取り組みや今後の考えを伺いたい。